

認知症高齢者の運転支援・実車評価～桔梗ヶ原病院（長野県）の取り組み

桔梗ヶ原病院

園原 和樹

【抄録】

認知症高齢者の運転能力評価において、MMSE や HDS-R 等の認知機能検査のみでは評価に限界があることが指摘されている。高齢者の自動車運転に関する報告書（2024年、日本老年学会）では、実車評価がゴールドスタンダードと位置づけられたが、その方法は確立していない。

桔梗ヶ原病院は高次脳機能障害支援拠点病院と認知症疾患医療センターの両機能を有し、脳血管障害者と認知症高齢者の運転支援を同一医師が担当している。当院の運転支援では、問診による運転習慣と既往歴の確認、頭部画像検査、神経心理学的検査に加え、必要に応じてドライビングシミュレーターや実車評価を併用して、運転能力を総合的に判断している。

認知症は道路交通法上の「一定の病気等」に該当するが、病名による一律な運転禁止ではなく、個別に運転能力を評価する必要がある。今後は高齢者の実車評価に関して、老年期の特性を踏まえた新たな評価基準の確立が望まれる。